

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1172200196		
法人名	株式会社 ウィズネット		
事業所名	グループホームみんなの家志木中宗岡		
所在地	埼玉県志木市中宗岡1-19-58		
自己評価作成日	平成27年11月20日	評価結果市町村受理日	平成28年4月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ケアシステムズ
所在地	東京都千代田区一番町6-4-707
訪問調査日	平成28年2月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホーム理念は、笑顔・安心・個性そしてチャレンジ精神のあるホームです。ご利用者様も、介護職員も笑って笑顔で生活しています。イベントに力を入れており近隣の保育園との交流会や食事レク、手作りおやの商店街にポスターを配り夏祭りに参加していただいたり、プール帰りの子供たちにかき氷を配ったり、ホームの存在を1人でも多く知って頂ける様に努めています。又ADL低下の軽減や気分転換を含め商店買い物に行ったり公園に行き季節感を感じて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームでは、写真付きの案内書を独自で作成している。入居希望者の目線に立った内容は、とても見やすくわかりやすいものとなっており、地域の様々な場所へも配布をしている。地域とのつながりを大切に考え、行事への参加や保育園との交流など積極的に機会を持ちながら、ホーム長を中心に開かれたグループホームづくりを実践している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)＋(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	笑顔・安心・個性そしてチャレンジ精神のあるホームを理念とし情報を共有しながら実践しています。	毎月の職員会議で事業所の理念を周知し、実践に繋がるように心掛けている。管理者は個別にも理念や目標のあり方を伝えており、全職員が共有し、日々のケアに努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	イベント時にボランティアの方に来て頂いたり、近所の保育園との交流会をしたり地域の方が入りやすい環境を作っています。	ビオラ演奏や民謡、女性入居者へのネイルアートなど、さまざまな地域ボランティアが定期的に訪れ、入居者の楽しみとなっている。来年度は近くの接骨院による転倒防止の勉強会を予定しており、地域との交流は盛んである。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議、地域懇談会、家族会で話し合いをしています。イベントなどに参加し交流し理解して頂いています。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度行っています。地域包括、市役所、オーナー、ご家族様と情報の共有を行いその都度、出来る範囲で行っている。	運営推進会議では、ホームの現状報告や行事予定等の連絡のほか、市役所や社協、地域包括から情報報告がある。地域からはホームのオーナーの参加もあり、多方面からのアドバイスがあることが議事録から伺える。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護課、高齢者ふれあい課と話をし対応させて頂いております。	市役所担当課からは運営推進会議への参加があり、ホームからは事業所の情報や今後の取り組みなどを連絡したり訪問することもあり、積極的に協力関係作りに努めている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月に1度職場会議、フロア会議で話し合いをし身体拘束委員会のメインの勉強会を行う。	職員会議の中で、身体拘束委員が事例検討などを含む勉強会を行い、職員全員への周知と理解にむけて取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	問題は無いが気になる事に関しては、身体拘束の話し合いの場の中で職員と話し合いを行う。			

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社協の方と話しセミナーがある時に参加したり話す機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にわからない事、疑問な点、質問等説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を年6回行っています。又面会の際、ご家族様に最近の様子をお伝えしたり、電話やお手紙等でご家族様の意見を聴き把握するように努めている。	定期的に家族会を開催している他、面会時や電話などを使って、日頃から家族の要望や意見の把握に努めている。担当職員は日々のケアの中で、入居者の意向を把握し、職員会議で伝えている。	外部評価で行った利用者(家族)アンケート結果で聞かれた意見の反映と家族へのフィードバックを行うことに期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場会議やフロア会議、フォローアップで個別面談をし職員の意見や提案をお聞きしています	職員会議、フロア会議の他に、管理者やフロア長が年1回の個別面談を行い、職員の意見を積極的に取り入れることに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握し介護職員の自主性を尊重し働きやすい環境を提供しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社の自己啓発研修や外部研修やホームで月1度位、テーマを決めて勉強会を開く様にしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域交流会等の参加し職場会議等で話し合いをしています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	できる範囲で話を聴き安心できる環境作りをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階で(実調)話を聴き、1ヶ月後のケアプラン作成時に再度確認を行います。そのほかにも家族会や面会時に耳を傾けています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	シニアセラピーの導入、訪問クリニックの変更等について。訪問看護の導入		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物を干して貰ったり畳んで頂いたり掃除して頂いたり食器を拭いて頂いたり介護職員と一緒に生活の場作りをしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	イベント時に来て頂いたり、ご家族様と外に食事をされに行かれたり、ご家族様と連絡を取り相談しながら行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人に来て頂いたり馴染みのある場所に散歩に行くようにしている。	家族以外にも知人や友人が面会に訪れることがある。墓参りや外食などに家族と出かけることもあり、希望に応じて個別に対応しながら、馴染みの場所や人との関係が途切れない支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士が交流をもてるレクの工夫に努めている。介護職員が間に入り会話をしながらおやつ作りをしたりしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	管理者や職員が個々に面会等に行きご家族様と手紙の交換などを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者様、ご家族様の意向を取り入れた支援を行っている。	居室担当者が日々のケアの中から、入居者の思いをくみ取ったり、現在までの生活歴を家族から詳しく話を聞いたりする他、面会の少ない家族には手紙や電話で意見や要望を聞き、一人ひとりの意向の把握に努めている	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の実態調査を基に生活の背景に合わせたプランをたてて、掃除やお手伝い家庭菜園等をして頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員と情報共有をし変化が生じた場合、医療連携等と協力し合っています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様の状態に合った計画を行い状態変化が見られた場合、再度、ご家族様と話し合う機会を設けています。	計画担当者をはじめ、フロア長、居室担当、フロア担当から出されたさまざまな意見やアイデアをもとに一人ひとりの思いを反映した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りをし、情報共有し、フロア会議で話し合い見直しを行う。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状態に応じご家族様と話し合いを行い訪問看護を取り入れる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣にある商店街や公園に行きオーナーの主催するオレンジカフェや体操クラブへ参加している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホーム担当以外にも必要なご利用者様には訪問して頂けるクリニックに診て頂いています	定期的に提携の内科、歯科の訪問診療があり健康管理を実施している。急変時には、近隣の病院との協力体制を整えており、外来や往診対応もある。事業所と医療機関の関係作りが適切であることが伺えた。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師に相談し、指示のある際は、対応させて頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	なるべく1週間に1度は、面会に行き情報交換をして訪問看護に連絡している。ご家族様とも今後の対応の話し合いの場を作っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者がご家族様に説明し訪問クリニックの変更や弊社特定施設に転居を勧めている。近隣のターミナルケアハウスの転居も勧めている。	契約時には、事業所の方針を伝えている。しかしながら、家族アンケート結果では看取りに関する意見も上がっていることから、家族会での説明や職員の勉強会などの機会を設け、入居者、家族が安心できるような働きかけに期待したい。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に消防署の応急処置の勉強会を行い事故発生時は、管理者、ご家族様、ホーム担当医に連絡し対応しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急時に備え連絡網を各階に貼って駆けています。又年2回、避難訓練を行っています。その際、オーナーや地域交流センターの方に参加して頂いています。	隣接する事業所と合同で、年2回避難訓練を行っており、職員は近隣住民への参加を呼び掛けている。消防署からの意見や指導をいただき、入居者が安全に避難できるように実践力を身につけている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴、排泄時は、特に気を付けております。接遇研修等の勉強会に参加し職場会議で周知しています。	法人で行われる接遇研修に、職員が参加をするほか事業所内では勉強会も行っている。排泄時の声かけや同性介助の希望など、入居者一人ひとりの希望に対応しながら、尊厳の尊重した介助に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定のできるご利用者様には、希望に沿うような支援を行っています。職員が気持ちを汲み取りケアに生かしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できる限り、ご利用者様のペースに合った過ごし方をして頂いています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で更衣される方は、ご自身で服を選び更衣して頂き、介助の必要な方は、声掛けし介助させて頂きます。たまには、いつも以上におしゃれをし外出します。化粧品等も買いに行きます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご自身で召しあがって頂ける様、声掛けや自助具など器を変えたりご自身で召しあがって頂く様、工夫する。	食事の準備では、毎回テーブルを拭いたり、お箸やお茶を配ったり、可能な限りお手伝いをしている。食器洗いや食器拭きなども職員と共にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取量が分かるよう様記録を取り健康状態を把握しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自身で行う方も、一部介助の方も仕上げでは、会議職員が歯間ブラシやスポンジで行います。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご自身でできる方は、声掛けにてご自身でされています。介助が必要な方は、声掛けにて誘導しパット交換、トイレ介助をしています。	排泄パターンや一人ひとりの生活習慣を把握しながら、できる限り自立に向けた支援を行っている。問題がある場合はその都度話し合いの機会をつくり、ケアの見直しを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	薬でコントロールやおやつ時に寒天等の食物繊維をとっています。体操などを行っています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	声掛けし見守りにて入浴しています。入浴剤やゆず湯をし入浴しています。拒否が強い方に対しては、時間をずらし入浴して頂いています。	希望があれば、1日おきの入浴の支援などにも柔軟に対応している。午後入浴を基本としており、時間を気にせずゆっくり入っていたい。職員との会話もはずみ、入浴中は大切なコミュニケーションの時間となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、昼休みをして頂いたり、夜間は、定期的にパット交換をし気持ちよく休んで頂ける様支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬表の説明やインターネットを活用しています。新しく処方された薬の場合、別に観察表を作って変化に気が付ける様にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お手伝いや家庭菜園、書道、縫物、レクなどを通し役割に合ったケアをしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様との外食、オーナー主催のオレンジカフェの参加や散歩を希望されるご利用者様は介護職員とその都度、散歩に行きます。	日常的な外出支援として、天候や健康状態に配慮しながら、ホーム前にあるせせらぎの小径を散歩をしている。年に数回は、外出行事と同時に外食の機会も設けている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は、ホームの方で金庫の中で保管させて頂いています。ご本人様が希望された際や必要な物に関しては、ご本人様と介護職員でお買い物に行きお金を払って頂きます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を使用できる方には、携帯や固定電話を活用し連絡して頂いています。通信等、ご家族様に郵送する書類の中に気分の良い時にご利用者様に手紙を書いて頂きます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った装飾をしています。レク会議で話し合っています。清掃管理表を使用し環境改善に努めています。	共有スペースでは、毎日午前と午後にラジオ体操をしたり、歌やちぎり絵などのレクリエーションに参加したり、思いおもいに過ごしている。日中は居室には戻らず共有スペースで過ごす利用者がほとんどであることから居心地のよい空間づくりがされていることが伺える。	居室や共用部分の清掃状態について、家族アンケートにおいて家族からの要望が上がっていた。毎日の清掃状態の確認と家族へのフィードバックに期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い利用者様は、一緒に居室で話したりテレビを見たりして過ごしています。テレビ観賞が好きな方は、居室で横になったりして自分の時間を楽しんでいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御自宅で使用していたものを使用して頂きレイアウトは、本人様にまかせてあります。ご家族様とも相談し持って来て頂いています。	本人の馴染みのものをなるべく持ち込んでいただくように家族にお願いしている。家族や本人と相談しながら居室の模様替えを行い、好きなレイアウトにすることで、居心地良く過ごしていただいている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの前にトイレの貼りみをしたり居室にわかりやすく本人様に確認し張り紙をさせて頂いております。		

(別紙4(2))

事業所名GH志木中宗岡

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 4 月 4 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	10	家族会での伝達	年6回の家族会や運営推進会議の内容の周知	毎月、一言通信でご家族様にお手紙を出す際、家族会で話した内容を参加出来なかった方にもお知らせする。	1ヶ月
2	52	清掃について	時間を有効に使い掃除の徹底。	夜勤の方、早番、遅番で協力し掃除の徹底。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。